

# 大乘持経寺報

令和6年7月号  
第19号

## 住職指導

「文月」の時節になりました。今月は後半戦の始まりの月です。例年その意味から、7月を「決起の月」と表します。今年、私達に与えられた折伏誓願は「一年に一人が一人の折伏を」で有ります。「折伏ができないのは、折伏をしないから」と、御法主日如上人猊下様が御指南です。「折伏前進の年」もすでに半年が過ぎました。今年こそは、皆様が決起して、折伏成就に向けて、動こうではありませんか。「動けば必ず智慧が湧く」のですから、共に唱題根本で慈悲の折伏を実践しましょう。そして持経寺支部の折伏誓願を達成しようではありませんか。皆様ががんばりましょう。

先月の御講日から講中の皆様に「令和8年大乘山持経寺創立60周年記念法要」の為の「特別御供養」をお願いいたしました。特別御供養は今年の8月、来年の8月、再来年の8月の3回にわたってお願いいたします。寺院受付にてお受けいたします。後日、受書を皆様にお渡しいたします。なお特別御供養は決して無理の無いようお願いいたします。でも全員参加で宜しくをお願いいたします。特別御供養は主に本堂内陣と天井の工事、本堂、廊下のジュータンの張り替え、寺院内の壁紙の張り替え等です。

皆様の力を結集して、立派な記念法要を奉修したいと願っていますので宜しくお願い致します。

今月も皆様には病気や事故等に充分気を付けられて、御信心に勉強に仕事にと頑張りをしましょう。以上

## 『役員挨拶』 婦人部長 秋元 篤

現在、婦人部では、5月中旬からご住職様の手ほどきをうけ、太鼓の練習を始めました。

朝夕の勤行や御講のお給仕の際、青年部に交ってたたかせていただけるようになりました。太鼓をたたける婦人部が徐々に増えていくことを願っております。

また、毎月第3土曜日、午前10時から実施される1時間の唱題行の後に、壮年部・婦人部合同の座談会を寺院本堂で開催しております。

「信仰のしおり」を用いて、日蓮正宗の正しい化儀を学びながら、日ごろの信心に関する事など、和気あいあいと語り合っております。ご住職様からのご指導を直接受けることもできますので、お時間がございます方は是非ご参加ください。

今月の7月は、いよいよ1年の後半戦に突入いたします。私達の年間目標である「一年に一人がひとりの折伏」を成就するべく、今月も皆で声を掛け合い、唱題根本で精進してまいりましょう！

## 『法華講講習会に参加して』 副壮年部長 財津 裕一郎

5月18日第6期の講習会に参加致しました。コロナ禍の影響で数年ぶりの講習会でした。

担当御尊師による二時限の御講義の全ては「支部誓願達成」に向けた折伏実践の内容で、自己の行動を見つめ直すよい機会となりました。

日如上人猊下様の御指南は慈悲に溢れておられて、改めて印象に残ったお言葉としては、折伏の心得として「1に慈悲の心、2に真の勇氣、3に大御本尊様に対する絶対の確信。」この三つでした。

この講習会を契機として、これからも更に自行の勤行、唱題を根本として、化他行の折伏に邁進することをお誓い致します。



## 『法華講講習会に参加して』 壮年部 都 克裕

令和6年5月25日の第10期の法華講講習会に参加させていただきました。「一人がひとりの折伏を」の御講義の中で、御法主日如上人猊下様の御指南の「自分を折伏して、かつ他人をも折伏するのです。」のお言葉が強く心に残っております。

自分が現在抱えている問題も課題も、朝夕の勤行、唱題を基本に、自分を折伏してから取り組んで行けば、必ず道は開けると信じ、改めて自行化他の信心に頑張ろうと思いました。

## 『法華講講習会に参加して』 婦人部 人見 文子

5月25日、第10期の法華講講習会に参加させていただきました。

「折伏前進のために」のテーマで、御尊師方から素晴らしい御講義を受ける事ができました。真剣な勤行、唱題、折伏に対して、自分に言い訳ばかりして、実践できていない事に大いに反省をしました。

御法主日如上人猊下様の御指南通り動けるように、自行の勤行、唱題を中心に、化他行の折伏ができるように頑張っています。

## 『法華講講習会に参加して』 婦人部 井内 加代子

講習会に参加して「自分自身をまず折伏する事が大事。」ということが、心に残りました。

講習会の御講義は午後の部で、御開扉後でしたので少し時間が有りましたので、石之坊の常唱堂にて唱題させていただきました。その折りに「説法石」の話をはじめ聞いて、感銘を受けました。とても良いお登山になりました。ありがとうございました。

## 『法華講講習会に参加して』 少年部副部長 佐藤 裕子

第10期の夏期講習会に参加させていただきました。

「1人がひとりの折伏を」とのテキストに基づき、講習会を担当されている御僧侶より御講義を受けさせていただきました。今の自分の信心を考えながら、お話しを拝聴させていただきました。

テキストには、御法主日如上人猊下様の「自折折他とも言いますが、自分を折伏して、かつ他人をも折伏するのです。これこそが信心の原点であることを、是非忘れないでいただきたいと思います。」との御指南が掲載されていました。

育成に行き詰まり、折伏が上手く行かない自分を考えました。自己満足で逃げていないか？やっているつもりになってないか？実践しています！と堂々と今言えるのか？と考えてしまいました。頭で考えても埒が明かないので、六壺での夕方の勤行に参加させていただきました。

一家和楽の信心の為にも、御仏智を頂けますよう御祈念させていただきました。

## 『法華講講習会に参加して』 婦人部 落合 タミエ

最初は講習会に行けないと、諦めていましたが、誘って頂き行く事を決めました。

講習会では、テキストに添った御講義をお聞きして、参加させて頂きとても良かったです。来年も、是非参加させて頂きたいです。

